

上部消化管内視鏡検査同意書

上部消化管内視鏡検査は、あなたの食道・胃・十二指腸の中を直接内視鏡で観察し病気がないか診断を行う方法です。

●検査前処置として、キシロカインによる咽頭麻酔と胃の中の泡をとり観察しやすくするシロップを少量内服します。

1) 過去に麻酔で異常があった場合や麻酔テストでアレルギー反応があった場合、医師の判断によってはキシロカインを使用しないで検査をする場合があります。

●検査中に必要に応じ以下のことを行います。

1) 粘膜組織の一部を採取(生検)して、顕微鏡で病変の診断(病理組織検査)を行います。生検を実施した場合は、検査当日及び翌日は過激な運動、喫煙、飲酒は控えていただきます。

2) 血を止めにくくする薬(抗凝固薬、抗血小板薬(薬剤不明も含む))を内服中の方は生検を実施できませんので、同検査を必要とする場合、他医療機関をご紹介の上、再検査をしていただく場合があります。

●内視鏡検査に関する危険性について、非常に極稀ではありますが、以下のようなことが起こりうる可能性がありますので嚴重な経過観察、治療(外科手術を含む)や入院のため他医療機関への搬送が必要になることがあります。

1) 内視鏡操作や生検による出血

2) 内視鏡操作や嘔吐反射による粘膜障害や穿孔

3) 前処置の薬剤などによるアレルギー(じんましんやショックなど)

4) 検査前からあった心臓病、喘息などの疾患の悪化や発生の出現

ただし、このようなことが起きないように細心の注意を払いながら検査を行います。

私は検査について以上の内容を了解し、上部消化管内視鏡(必要があれば生検)を受けることを同意しました。

令和 年 月 日

ご署名

財団法人 杜の都産業保健会
一番町健診クリニック
所長 丸岡 伸